

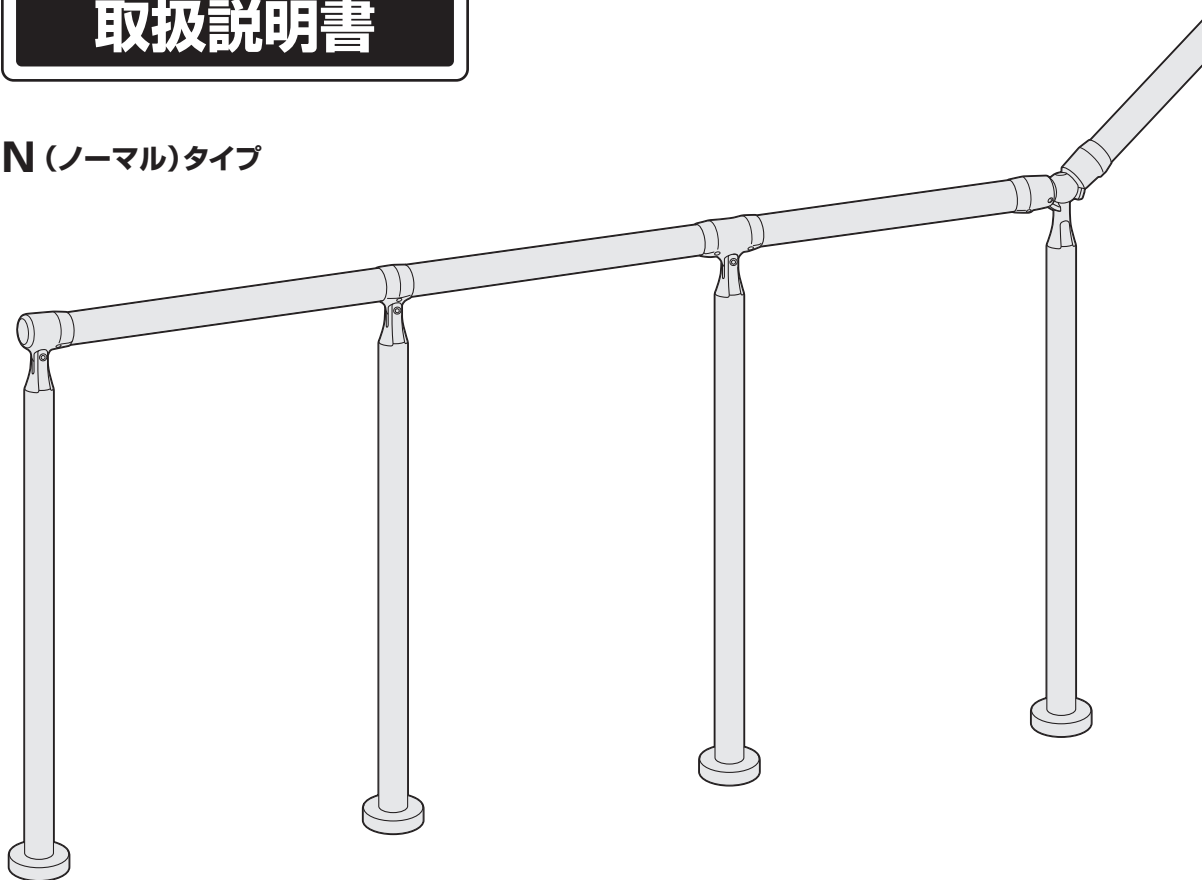
# ASANO Railing System

ステンレス製 手摺システム【自立型】

## AR-Y series

### 取扱説明書

N (ノーマル)タイプ



#### 設置される施工業者様へ

本製品を正しく設置して頂くためにこの取扱説明書をよくお読みください。また、設置後は管理されるお客様へこの取扱説明書をお渡しください。

#### 管理されるお客様へ

本製品を正しく管理して頂くためにこの取扱説明書をよくお読みください。また、読み終わった後、いつでも見られる所に大切に保管してください。

**ASANO 浅野金属工業株式会社**

〒955-0803 新潟県三条市月岡2866  
TEL.0256-33-0101 FAX.0256-33-0096  
E-mail sales@asano-metal.co.jp  
URL <http://www.asano-metal.co.jp>

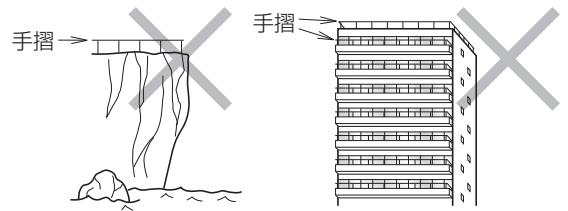
# 安全のために注意していただきたいこと

AR-Yシリーズ（ステンレス製自立型丸パイプ手摺）を正しく安全に施工および管理していただくために、また、お客様や周りの方への危害や財産への損害を未然に防止するために、本書をよく読んで理解した上で本製品をお取り扱いください。

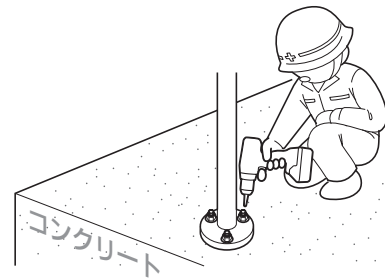
⚠	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## ⚠ 警告

- 本製品は転落防止や防護柵としての機能はありません。あくまでも歩行者用の補助手摺になりますので、転落の恐れのある場所への設置はしないでください。また、建物の屋上やベランダ、断崖部などの危険な場所への設置もしないでください。



- 本製品の施工は施工知識を有する専門の施工業者が行ってください。ご購入者自身で施工・取付けされる場合は自己責任にて行われたものと解釈し、施工・取付けにかかるケガや事故、損害に対し当社は一切責任を負いません。

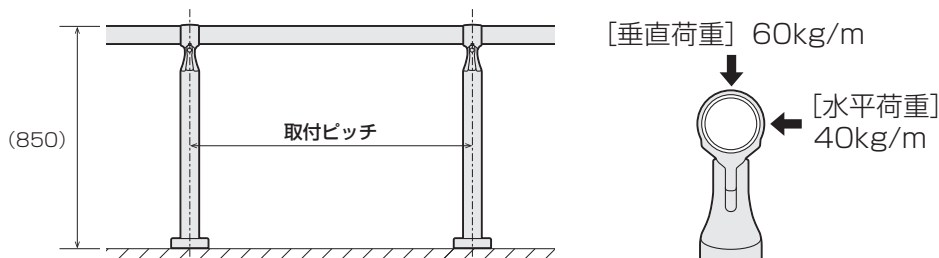


## ⚠ 注意

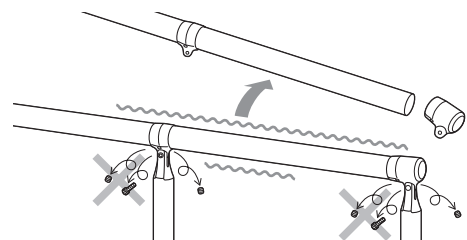
- 支柱の取付ピッチ（間隔）は、下表の数値を守ってください。取付ピッチが長いと手摺がたわんで揺れが生じ、取付ねじが外れたり手摺が外れるなどの思わぬ事故に繋がります。

ステンレス製 手摺パイプ		φ34	φ38	φ42.7
取付ピッチ (mm)	肉厚 t1.5	1300以下	1400以下	1400以下
	肉厚 t2	1400以下	1400以下	1400以下

取付ピッチは設計強度（歩行者自転車用柵種別P相当）にて算出した値です。

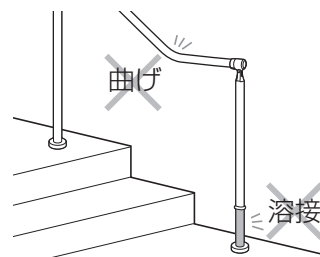


- 各部を固定しているねじ（ボルト）が緩んだ状態で使用するとねじが欠落して手摺が外れるなどの事故に繋がります。1年に1回以上定期的に点検し、ねじの緩みがあったら増締めをしてください。また、故意にねじを緩めるなどの行為はしないでください。

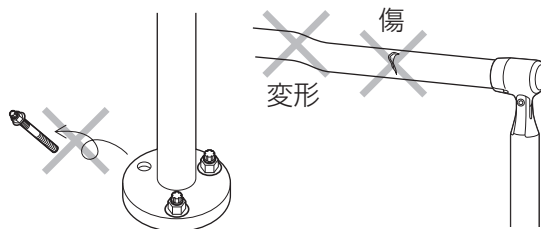


## ⚠ 注意

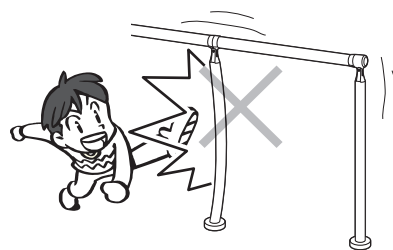
- 本製品を改造しないでください。手摺を無理矢理曲げたり、違う素材を溶接するなどの改造は、製品本来の品質を損ね、思わぬ事故の原因になります。



- 本製品に変形や傷、割れが発生した場合や、ベース固定のアンカーのがたつきや、抜けなどが発生した場合は、直ちに修理するか部品の交換をしてください。そのまま使用すると事故に繋がります。



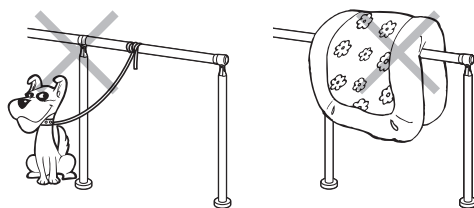
- 故意に手摺を揺らしたり、衝撃を与えないでください。手摺が変形、もしくは破損し、事故の原因になります。



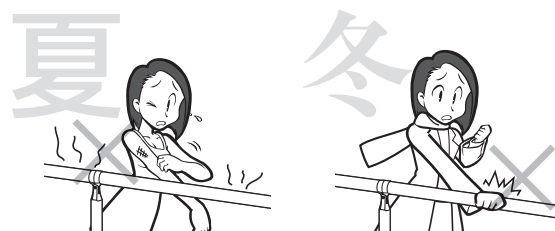
- 本製品は遊具ではありません。故意に手摺に乗ったり、ぶら下がったり、座るなど遊ばないでください。思わぬ事故の原因になります。



- 手摺の用途以外で使用しないでください。洗濯物や花壇など重い物を乗せたり、ペットの鎖やテントなどの固定に使用しますと手摺が変形や摩耗、もしくは破損する原因になります。

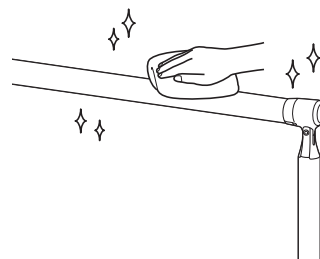


- 夏の暑い日はステンレス製の手摺も高温になりますので、二の腕や前腕など皮膚のやわらかい部分が触れると火傷をする恐れがあります。手のひらで注意深く握ってください。



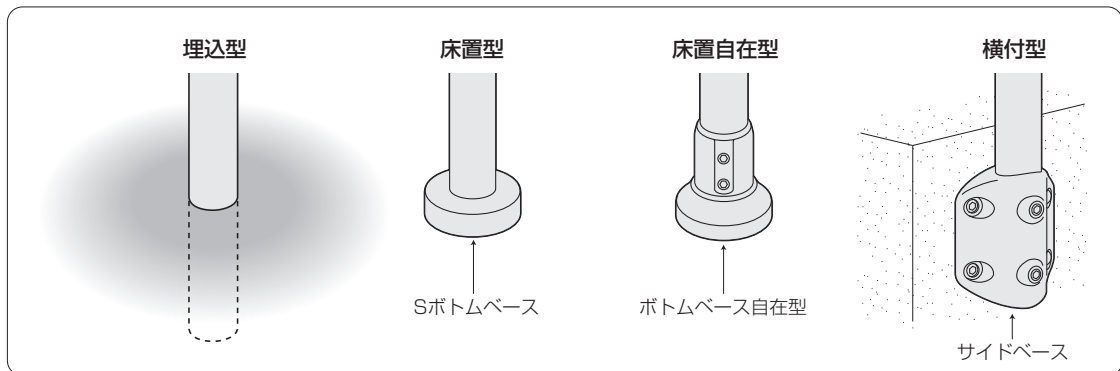
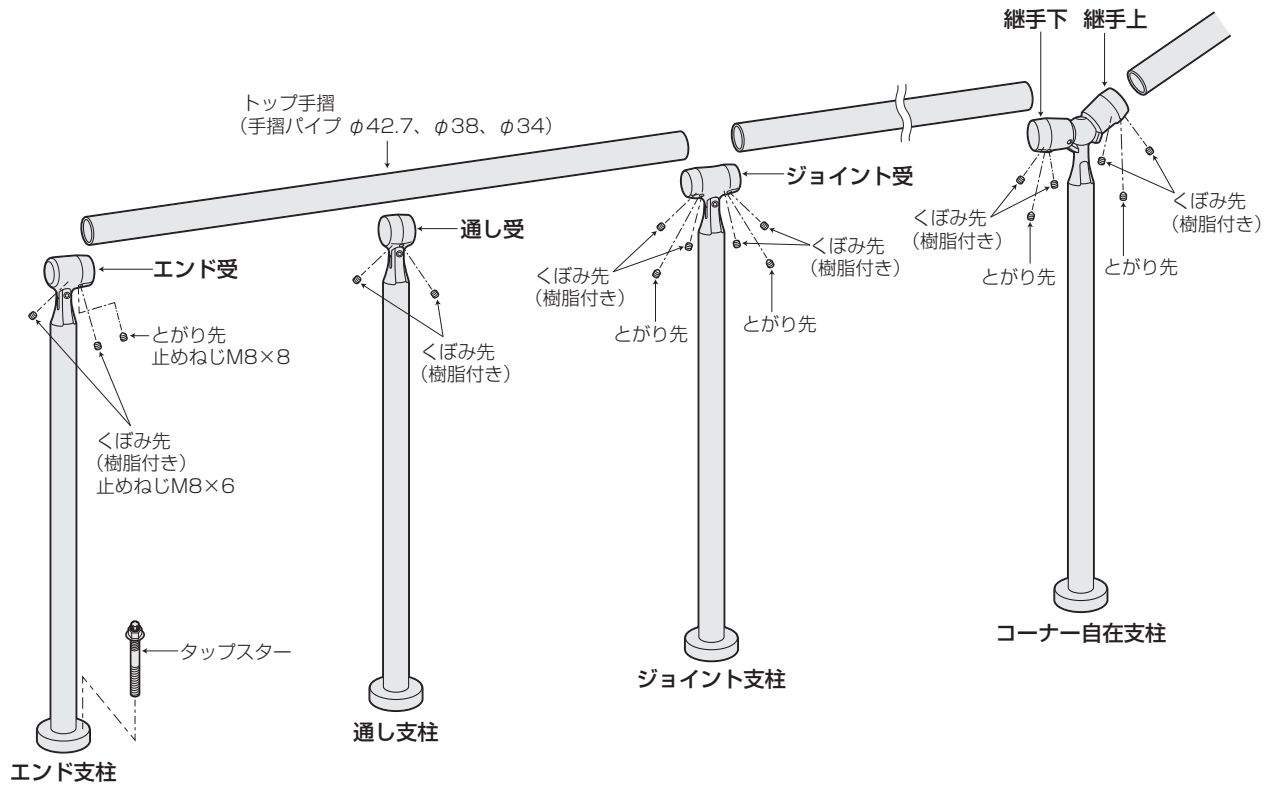
- 冬の寒い氷点下の日は、手摺が氷っている場合があり、素手で握ると手がくっついて離れなくなり危険です。手袋などを着用して素手で触らないでください。

- 本製品はステンレス製ですが、全く錆が発生しない材質ではありません。特に海岸沿いなどは錆が発生する場合があります。また内陸であってももらい錆などで発生する場合があります。錆をそのまま放置しますと手摺の強度が低下して破損する恐れがありますので、**点検・メンテナンス**を参照して錆を除去し、こまめに表面を清掃してください。



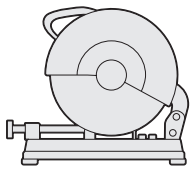
## 各部の主な名称

- AR-Yシリーズは、各支柱とトップ手摺を別々に納品致します。  
トップ手摺は定尺4Mになりますので、現地で必要な長さに切断して取付けてください。



## 施工に必要な工具類

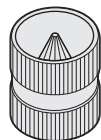
### 高速カッター



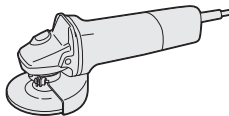
パイプの切断に使用します。

### バリ取り

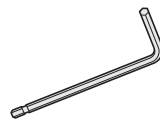
チューブリーマー  
パイプリーマー



ディスクグラインダー



### 六角レンチ



4~8mm  
14mm (床置自在型のみ)

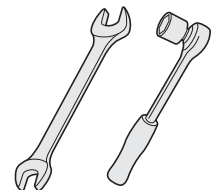
※当社より販売致します。

### スパナ及びソケットレンチ

タップスター用専用ソケット



※当社より販売  
致します。

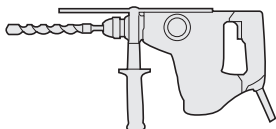


M 8 用 / 12 · 13mm  
M10 用 / 14 · 17mm

アンカー固定用に使用します。

### 支柱用工具

ハンマードリル



支柱のアンカーの下穴あけに使用します。

電動ドライバー



※必要に応じて使用してください。

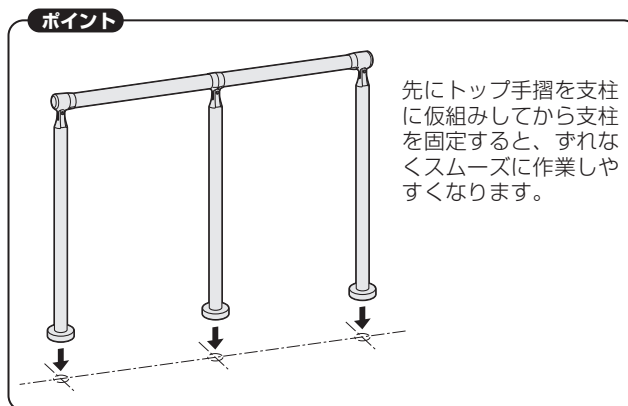
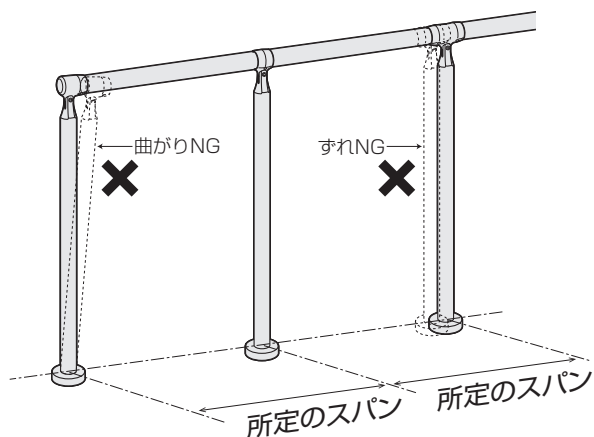
インパクトドライバー



## 施工する際の注意事項

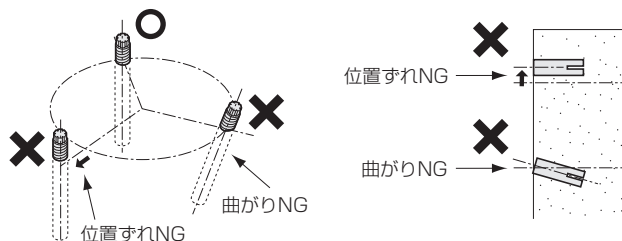
### ① 支柱の取付位置は正確に行なってください。

支柱の取付ピッチ（☞P1参照）を守り、所定のスパンに垂直に取付けてください。支柱の取付位置がずれたり支柱が曲がったりするとトップ手摺の組付けができなくなる場合があります。また、無理に組付けすると取付ボルトやねじに負担がかかり破損してしまう恐れがありますので、所定の位置に正確に施工してください。



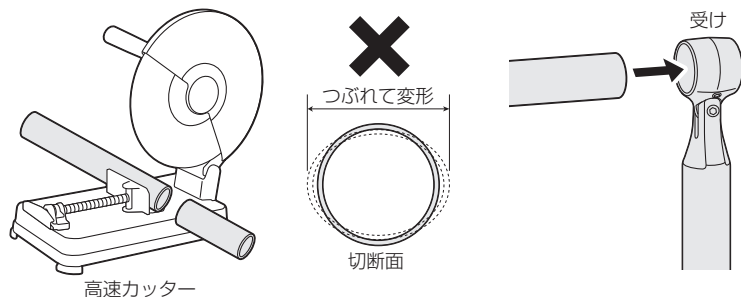
### ② アンカー施工をする場合

コンクリート等の強度が十分あることを確認してから施工を行なってください。また、アンカーの位置がずれたり曲がったりすると支柱を取付けできなくなりますので、所定の位置に正確に施工してください。



### ③ パイプ端部が変形しないように切断してください。

高速カッター等で力任せに切断すると、パイプ端部が変形してしまい、支柱の受けに挿入できなくなる場合があります。

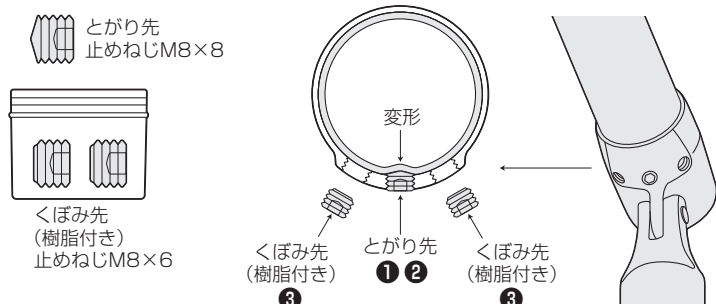


#### ポイント

変形した場合は変形した部分を矯正してください。また、切断時のバリがあると挿入しづらいのでバリを除去してください。

### ④ トップ手摺の固定について

トップ手摺の外れ防止対策として、とがり先を使用し、パイプの端部を変形させて外れにくくします。  
※とがり先は予め受け金具に取付けてあります。（通し受にはありません。）



#### ポイント

とがり先を締め付けてパイプ端部を変形させるので、手摺の取付位置に間違いがないことを確認してから本締めを行ってください。

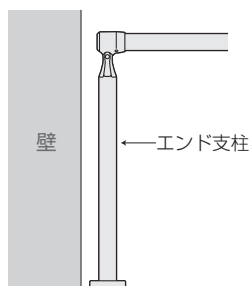
#### <締付手順>

- ① ねじ穴3ヶ所の中央に取付けてあるとがり先でトップ手摺を仮止めします。
- ② トップ手摺の位置が決まったら、とがり先を本締めします。
- ③ とがり先を本締めした後、同梱したくぼみ先（樹脂付き）を2ヶ所取付けて本締めします。

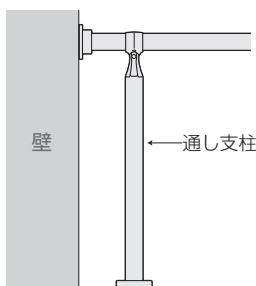
※締付トルクの目安=10.5 [N・m]

## ⑤ 支柱近くに建物などの壁がある場合

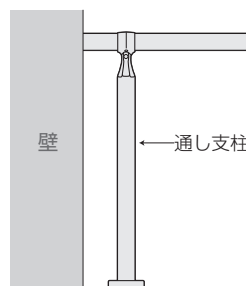
(1)支柱を壁面に近づける



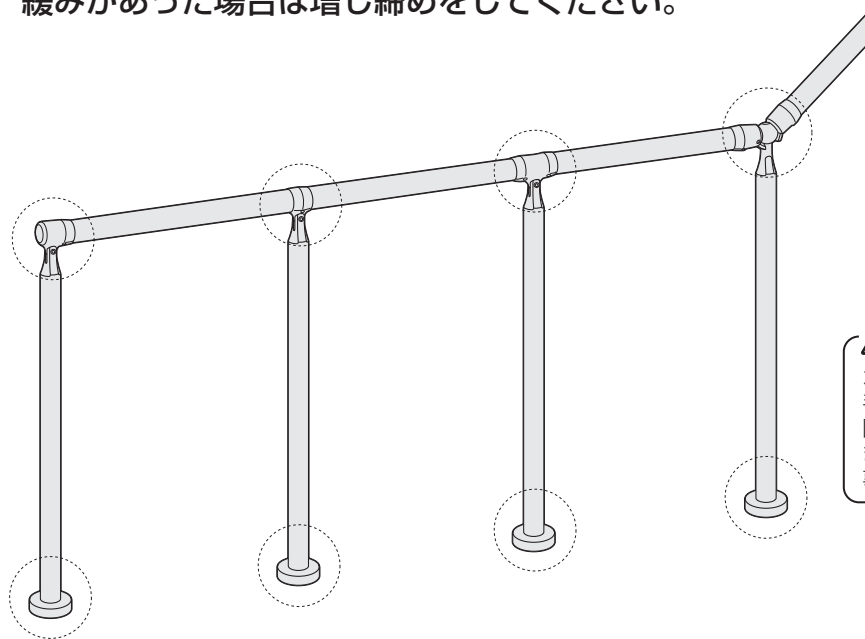
(2)ソケットを使用して壁面に固定する



(3)パイプの端面を壁に接する  
(パイプ端面は切りっぱなし)



⑥ 設置が完了した後、ボルト（ねじ）の緩みがないか全ヶ所確認し、緩みがあった場合は増し締めをしてください。

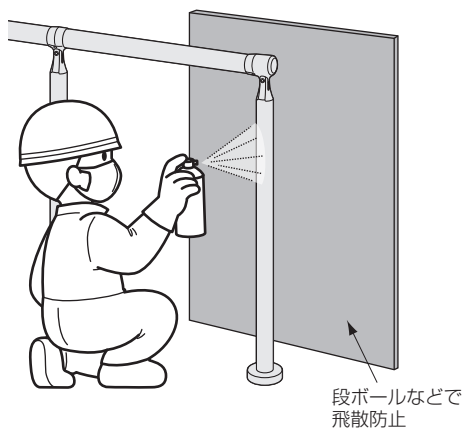


### ⚠ 注意

ボルト（ねじ）の緩みがあると、支柱や手摺がたつき、ねじの欠落や破損の原因になります。  
また、組付けた手摺や部品が突然外れて事故につながる危険があります。

## ⑦ 汚れの除去と錆の抑制

施工時、手摺や支柱に付着した汚れは、やわらかい布やスポンジで水拭きをしてきれいに除去してください。また、本製品はステンレス製ですが全く錆が発生しない材質ではありませんので施工後、防錆処理を行ってください。（もらい錆は保証の対象外です。）

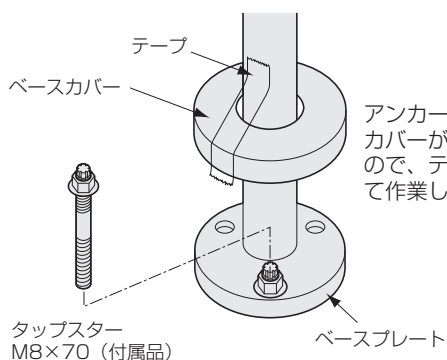


推奨 [アサヒペン製 ラッカーズプレー (透明)  
呉工業製 シールコート (透明)]

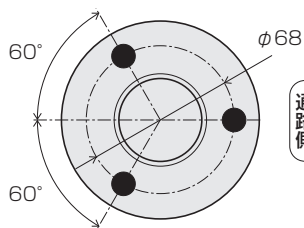
※使用する際は、記載の使用方法を遵守し、安全に取り扱ってください。

# 1 支柱の固定

## 床置型

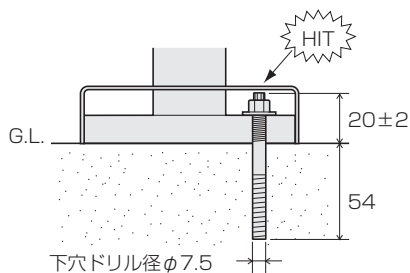


アンカー施工時はベースカバーが邪魔になりますので、テープなどで止めて作業してください。



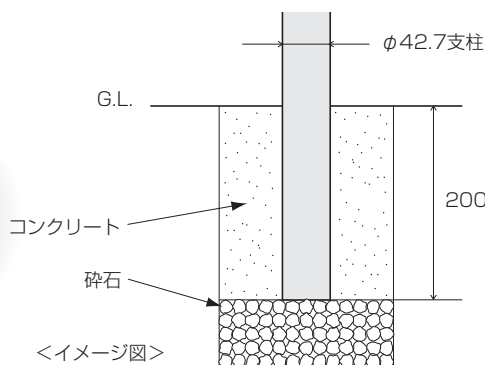
アンカーは左図の黒丸部3ヶ所を固定してください。

アンカーは付属のタップスターを使用してください。  
(施工方法については当社へお問い合わせください。)  
但し、他の仕様（オールアンカーやケミカルアンカー、六角ボルト+ナット）も可能です。



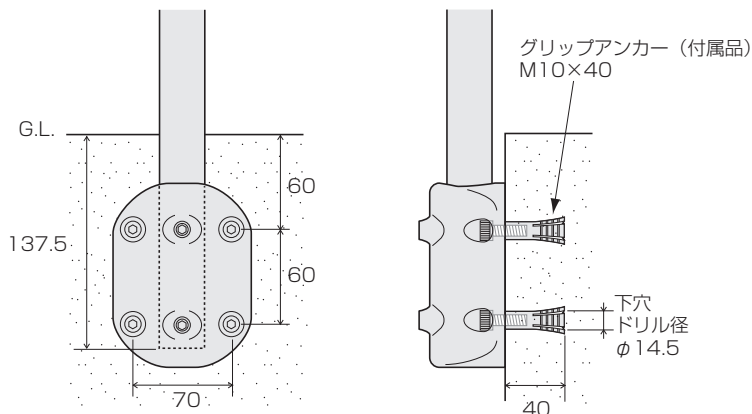
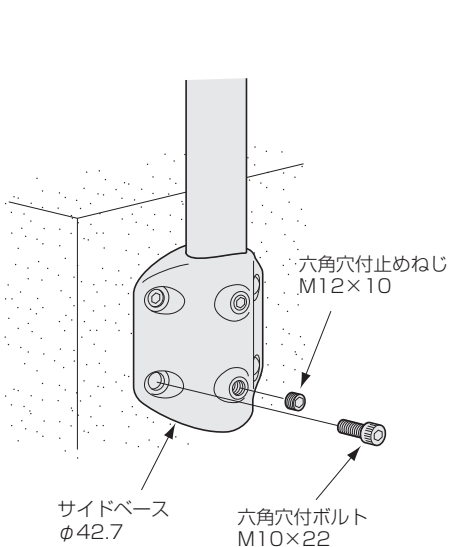
アンカーの寸法は左図のように床面から20±2mmの範囲に調整してください。出過ぎるとベースカバーがアンカーに当たって浮いてしまいます。

## 埋込型



埋込深さは200mm（当社基準）となっています。深さを延長したい場合は事前に当社へお問い合わせください。また、根がらみや水抜き穴が必要な場合も事前にお問い合わせください。

## 横付型



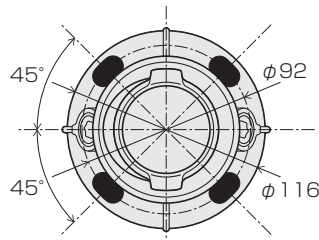
アンカーは付属のグリップアンカーを使用してください。但し、他の仕様（六角穴付ボルト+ナット）も可能です。

# 床置自在型

## 取付手順

### ① アンカーの施工を行います。

アンカーは付属のタップスターを使用してください。  
 (施工方法については当社へお問い合わせください。)  
 但し、他の仕様(オールアンカーやケミカルアンカー、六角ボルト+ナット)も可能です。

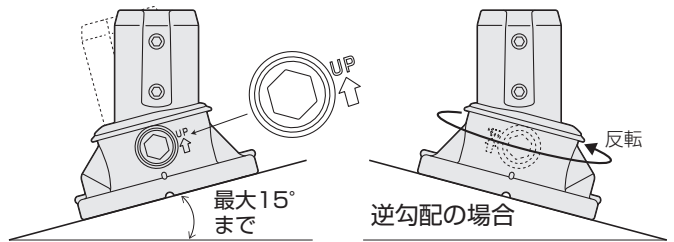
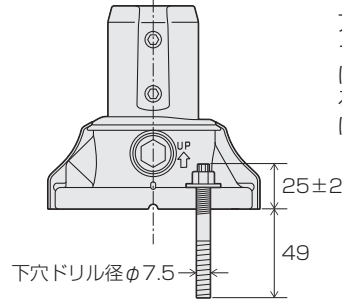


アンカーは左図の黒丸部4ヶ所を固定してください。

#### ポイント

アンカーの位置は、予め支柱とトップ手摺を仮組みした状態で決めた方がずれなくなります。  
 (P4①参照)

アンカーの寸法は左図のように床面から $25 \pm 2$ mmの範囲に調整してください。出過ぎるとベースカバーがアンカーに当たって浮いてしまいます。



スロープの勾配は最大15°まで取付可能です。  
 ボトムベースのUP(アップ)側が勾配の高い方になりますので、逆勾配の場合はボトムベースを反転させて使用してください。

### ② 支柱を取付けます。

支柱を支柱ケーシングの奥まで(挿入寸法60mm)挿入し、Sトップベースの向きを合わせて、止めねじM10×10(4ヶ所)を締め付けます。

#### 注意

支柱の先端が変形していると支柱ケーシングの奥まで入らないので、支柱を切断する場合は変形しないように注意してください。(P4③参照)

### ③ 平先A

まず、UP側の平先Aを回転させて、支柱が垂直になるように調整します。  
 ※予め平先Bと六角穴付ボルトを緩めておきます。

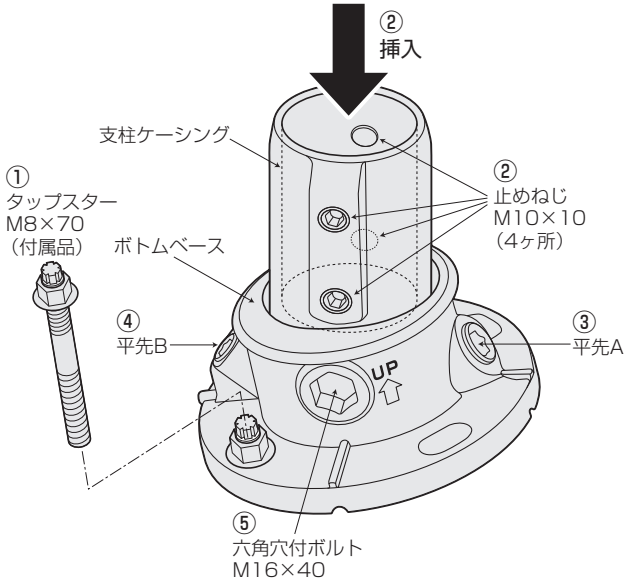
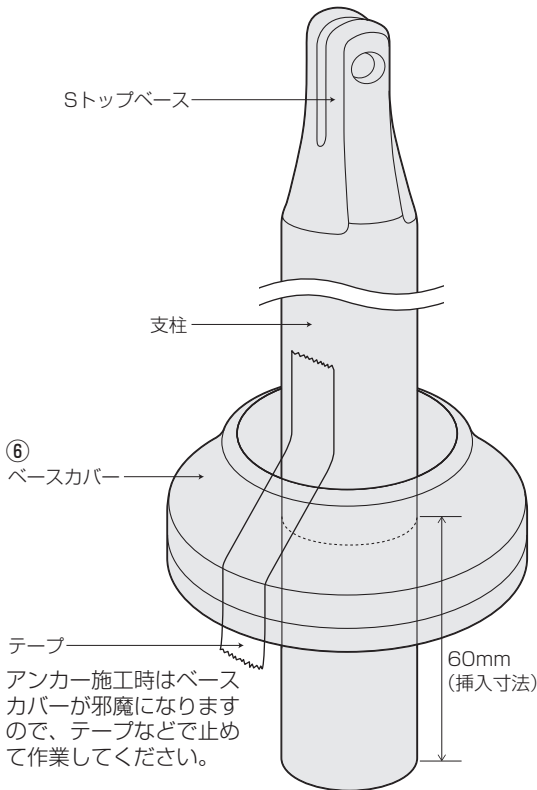
### ④ 平先B

支柱が垂直になったら、平先Bを回転させて、止まるまで締め付け、本締めします。  
 ※垂直が曲がってしまったら、再度平先Aと平先Bを調整してください。

### ⑤ 六角穴付ボルトM16×40を本締めします。

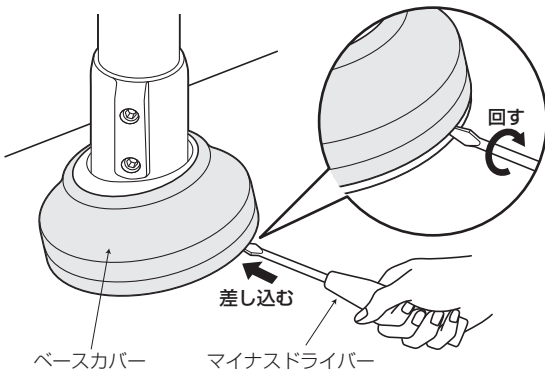
### ⑥ 最後に各ねじが緩んでいないか再度確認し、ベースカバーをボトムベースに被せて押し込むように取り付けてください。

工具 六角レンチ5・8・14mm



#### ポイント

ベースカバーを外す時は下図のようにマイナスドライバーの先端をベースカバーと床の隙間に差し込んで、ベースカバーを押し上げるように回すと外すことができます。

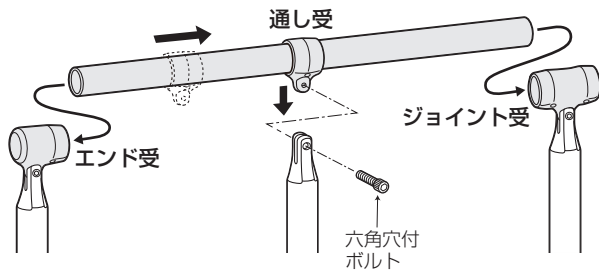


工具 マイナスドライバー





② トップ手摺を各支柱の受けに挿入します。

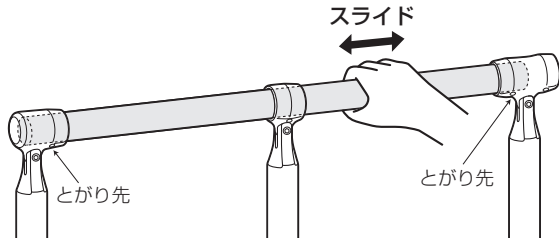


**ポイント**

通し受に挿入する場合、長い手摺を取り回して挿入するより、通し受を支柱から外して手摺に通す方が安全に早く施工ができます。(他の受けについても必要に応じて外しても構いません。)

工具 六角レンチ5mm

③ とがり先を仮止めします。

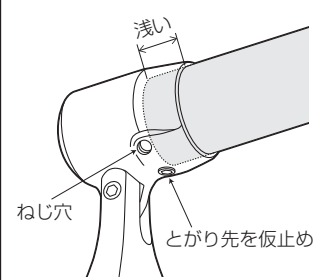


挿入したら手摺を左右にスライドさせて、手摺の両端がねじ穴よりも深く挿入できていることを確認してから、とがり先を軽く仮止めします。

※まだ本締めしないこと。

※通し受にとがり先はないので仮止めは不要です。

**ポイント**



左図のように手摺の挿入がねじ穴よりも浅くなった場合手摺の固定がうまくできないので、新しい手摺を作り直してください。また、手摺が全く左右にスライドしないで突っ張っているような場合、手摺の長さが長いので、適正な長さに切断または研磨して短く調整してください。

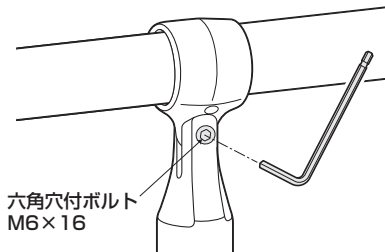
工具 六角レンチ4mm

④ 受けを固定しているボルト（ねじ）を本締めします。

(1) エンド支柱/通し支柱/ジョイント支柱

各受けを固定する六角穴付ボルトM6×16を本締めします。

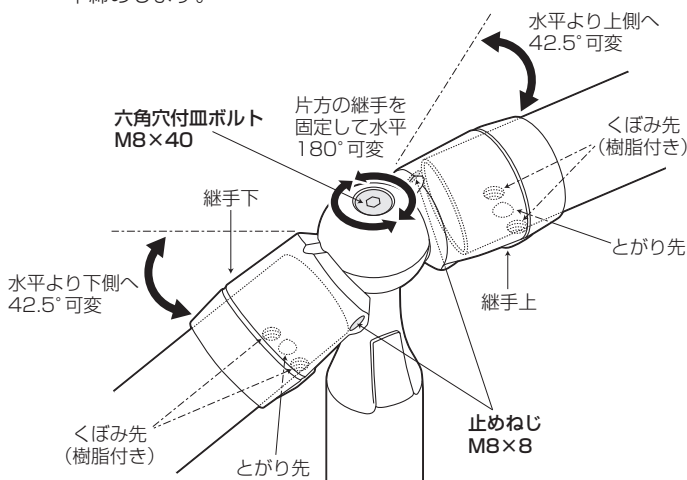
工具 六角レンチ5mm



(2) コーナー自在支柱

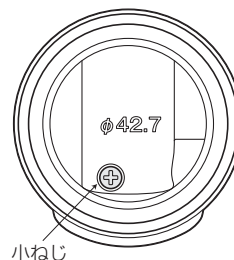
継手上/継手下の水平方向を固定する六角穴付皿ボルトM8×40と継手上/継手下の上下方向を固定する止めねじM8×8（2ヶ所）を本締めします。

工具 六角レンチ4.5mm



※継手上/継手下を必要に応じて外したい場合は、左図の六角穴付皿ボルトを取外してください。

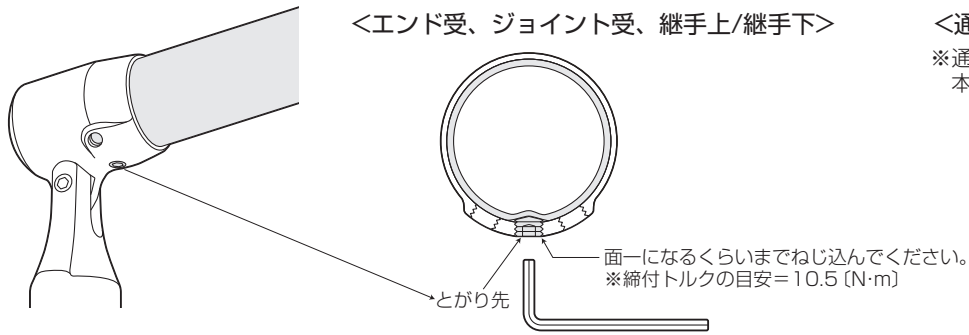
**おねがい**



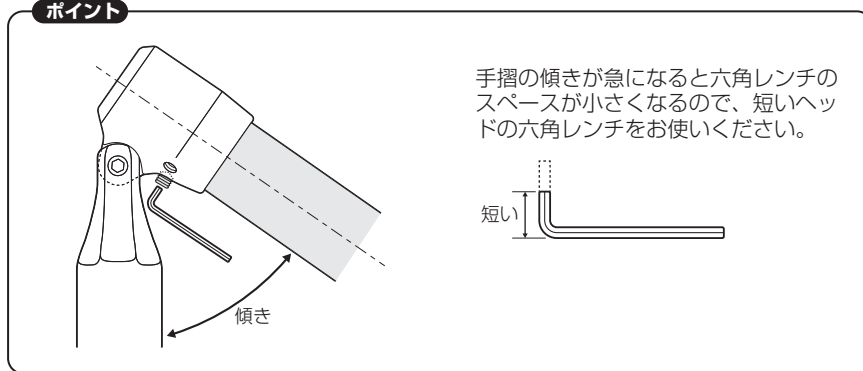
※継手上/継手下の内部の小ねじは上下方向のストッパーですので、取外さないでください。

⑤ とがり先を本締めします。

全てのトップ手摺を④まで施工し、トップ手摺の位置が決まったら、③で軽く締めていたとがり先を全て本締めします。(☞P4④参照)



ポイント

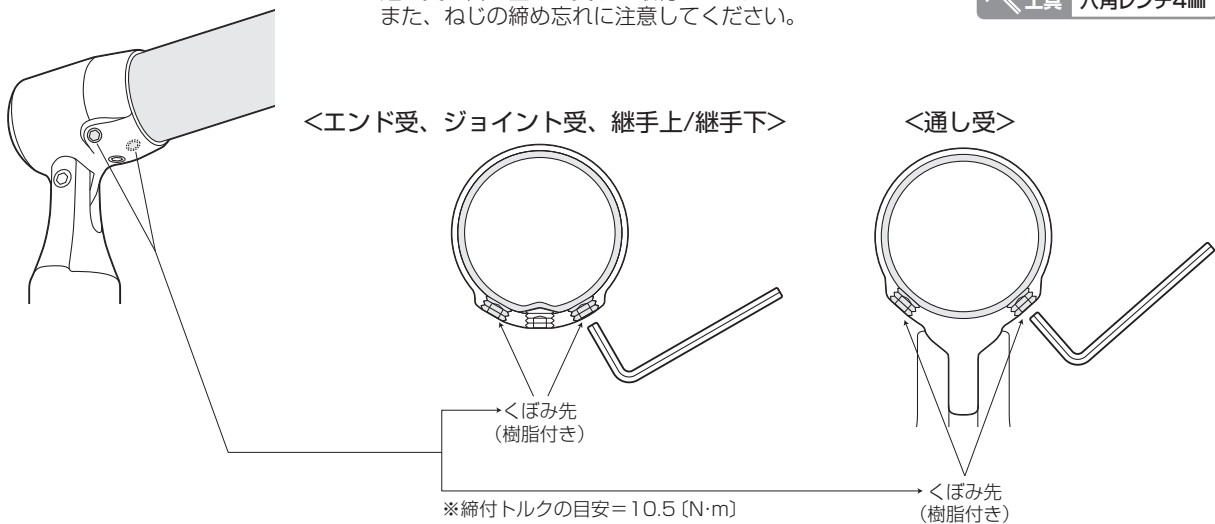


⑥ くぼみ先（樹脂付き）を取付けます。

とがり先を本締めした後、同梱したくぼみ先（樹脂付き）を2ヶ所取付けて本締めします。

※通し受を含む全ての受けに取付けてください。  
また、ねじの締め忘れに注意してください。

工具 六角レンチ4mm



⑦ 最後に設置が完了した後、ボルト（ねじ）の緩みがないか全ヶ所確認し、汚れの除去と錆の抑制を行ってください。(☞P5⑥⑦参照)

## 点検・メンテナンス

AR-Yシリーズの点検・メンテナンスにつきましては、下記の項目を定期的実施してください。  
また、補修や部品交換などの修理に関しては、販売店（施工業者）に依頼し、取扱説明書を熟読された上で正しく修理してください。

### ① 各部品を固定しているねじに緩みがないか。

●ねじの緩みがあった場合、増締めをしてください。

また、ねじが欠落していた場合は、新しいねじを購入し再度組付けてください。

### ② 支柱の固定に異常はないか。

●床置型・横付型のアンカーの固定にがたつきがあった場合、増締めをしてください。

またコンクリートなどの躯体に割れなどがあった場合は、補修をしてください。

●埋込型の埋設部にがたつきがあった場合についても補修をしてください。

※補修する場合は販売店（施工業者）へ依頼してください。

### ③ トップ手摺や支柱に著しい汚れや錆がないか。

(1)軽い汚れ（手あか、砂や泥など）は、やわらかい布やスポンジで水拭きした後、中性洗剤をつけて拭き取ってください。

(2)それでも汚れが取れない場合、市販のクリーナー（洗浄液）やリムーバー（除去液）またはシンナー等をつけて拭くと効果があります。

(3)もらい錆（土埃中の鉄粉等が付着して発生する斑点状の錆）は(1)(2)を行ない、それでも取れない場合は、市販の錆取り剤を使用してください。

(4)市販の錆取り剤でも除去できない錆の場合、ヘアライン目のペーパーや研磨材で磨いて錆を除去してください。

#### ポイント

こまめに拭き掃除をしてください。

汚れやもらい錆は早い段階であれば簡単に除去できますので、しつこい汚れや錆付く前にきれいに拭いてください。

また、もらい錆を軽減するために防錆処理を行うと効果があります。

☞ P5 ⑦ 汚れの除去と錆の抑制 参照

### ④ 各部品に変形、割れ、錆などがいないか。

●変形や割れなどの異常があった場合は、その部品を新品と交換してください。

●錆があった場合は、③を参照し、錆を除去してください。

あまりにも著しい錆は取りにくいので、部品の交換をお勧めします。

尚、不明な点などがございましたら、当社もしくは販売店（施工業者）へお問い合わせください。

製造元

**ASANO 浅野金属工業株式会社**

〒955-0803 新潟県三条市月岡2866

TEL 0256-33-0101 FAX 0256-33-0096

ホームページ <http://www.asano-metal.co.jp>

E-mail [sales@asano-metal.co.jp](mailto:sales@asano-metal.co.jp)

販売店名